

目指すまちの姿

4

生涯輝くまち

基本構想
施策の
方向性

4-1 人権を大切にする共生のまちづくりの実現

4-2 子どもたちの教育環境の充実

4-3 多様な学びの場の整備・充実

4-4 スポーツ・芸術・文化の振興



評価指標	現状値		目標値 (2029年)	指標の考え方
	前期基本計画 策定時	中期基本計画 策定時		
自分には、 よいところが あると思う児童 生徒の割合	小学校	71.4% (2017年度)	72.0% 注2 (2020年度)	85.0%
	中学校	69.7% (2017年度)	67.0% 注2 (2020年度)	85.0%
今住んでいる地 域の行事に参 加している児童 生徒の割合	小学校	63.9% (2017年度)	注3	75.0%
	中学校	35.7% (2017年度)	注3	55.0%
市内主要施設の注1 年間利用者数	187,927人 (2017年度)	102,356人 (2020年度)	188,000人	スポーツ活動の充実・支援や芸術文化環境の充実を推進することで、市内施設の利用者数の維持・向上につながると考えます。

注1 市内主要施設は、文化会館・温水プール・公民館4館・ふれあい交流ドーム・図書館

注2 新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった全国学力学習状況調査に替えて実施した市独自アンケートの
数値

注3 新型コロナウイルス感染症の影響により全国学力学習状況調査は中止



SDGs



基本構想

施策の
方向性

4-1 人権を大切にする共生のまちづくりの実現

現状

- ▶ 人権のまちづくりを目指して、市内 23 の地区組織や各種団体等により構成する宇陀市人権教育推進協議会を中心に、人権教育・啓発を行う
- ▶ 人権と福祉のまちづくりの拠点施設として 2021 年 4 月に、宇陀市人権交流センターを開所
- ▶ 同和地区に関する問い合わせや、インターネットによる人権侵害が依然として存在し、また、LGBTQ^{※50} など性的マイノリティの人に対する偏見といった問題も発生
- ▶ 人権に関する相談に対応するため、人権擁護委員や民生委員・児童委員等との連携により人権相談を実施しているほか、女性専門相談員によるDV^{※51}相談を実施
- ▶ 性別に関わりなく誰もが輝くことのできる社会の実現を目指して、地域団体と連携しながら、啓発活動及び学習活動を実施
- ▶ 女性の社会進出が進んでいる一方で、性別による固定的な観念や思い込みなどの人権問題が依然として存在

課題

- ▶ 人権問題の解決に向けた人権教育・啓発のさらなる推進のため、関係機関・団体等との連携強化
- ▶ 多様化・複雑化する人権相談に対応するため、関係機関との連携強化、相談員の資質向上
- ▶ DV 等の暴力の防止に向けた取り組みの充実
- ▶ 男女が対等に生きる意識と社会環境づくり
- ▶ 多様な働き方ができる職場環境づくり

審議会等における女性の登用比率

2021 年度 **25.5%**
2020 年度 **26.1%**

[2021 年度 県内市町村 14 位、県平均 24.5%]
[2020 年度 県内市町村 10 位、県平均 24.4%]

(出典：地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は
女性に関する施策の推進状況（内閣府）)

※50. LGBTQ:女性の同性愛者 (Lesbian)、男性の同性愛者 (Gay)、両性愛者 (Bisexual)、こころの性とからだの性の不一致 (Transgender)、性的指向や性自認がはっきりしていない、定まっていない、どちらかに決めたくない等 (Questioning) の性的少数者の総称のことです。

※51. DV: ドメスティック・バイオレンス (Domestic Violence) の略で、配偶者や恋人などの関係にある、又はあった者から振るわれる暴力のことです。

目指すまちの姿 4

施 策

① 一人ひとりの人権が尊重されたまちづくりを推進します

- ▶あらゆる分野において多様性を個性として受け入れ、誰もが尊重されるインクルーシブ社会^{*52}の実現
- ▶家庭や学校、地域、職場等あらゆる場で、人権意識を高めることができるよう人権教育・啓発を推進し、部落差別をはじめとするあらゆる差別や人権侵害事象の防止
- ▶LGBTQなど性的マイノリティについて、性の多様性に対する正しい知識と理解が広がる意識啓発と意識改革
- ▶人権問題における様々な相談に対して、国や県、民間団体等との連携・協働を図りながら、支援体制の充実
- ▶人権交流センターを人権と福祉の拠点施設として位置付け、講座等による交流や人権・生活・就労等の相談事業の充実



人権と福祉の拠点施設
「宇陀市人権交流センター」

② あらゆる分野での男女共同参画を推進します

- ▶固定的な性別役割分担意識に捉われることなく、男女がともに尊重し合える意識づくりのため、職場、学校、地域、家庭など幅広い場面における広報・啓発活動
- ▶社会のあらゆる分野に様々な価値観と発想を取り入れるため、施策や方針、意思決定過程への性別にとらわれない人材の参画の促進
- ▶男女間のあらゆる暴力の根絶に向け、被害者が安心して相談でき、かつ必要な支援を適切に受けられるような体制の充実

③ 仕事と生活の調和がとれたワーク・ライフ・バランス^{*53}を推進します

- ▶男女がともに責任を持って家事や地域活動を担い、様々な分野に参画できるよう、啓発を行うとともに環境の整備
- ▶労働環境において、仕事と私生活との調和や相互作用が心身の健康や生産性の向上等に有効であることの啓発



こんな事業をしています

(事業は 2021 年度)

- 人権集会・研修会開催
- 人権相談

- DV相談

こんな計画が関連しています

- 宇陀市人権施策基本計画
- 宇陀市地域福祉計画及び地域福祉活動計画
- 宇陀市特定事業主行動計画
- 宇陀市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画
- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市男女共同参画計画

- 宇陀市生涯学習振興指針
- 宇陀市学校教育の指導方針
- 宇陀市いじめ防止基本方針
- 宇陀市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

*52. インクルーシブ社会：障がい、性別、年齢、国籍や宗教、文化等の多様性を認め合い、共に暮らしていく社会のことです。

*53. ワーク・ライフ・バランス：働くすべての人が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。

SDGs



基本構想

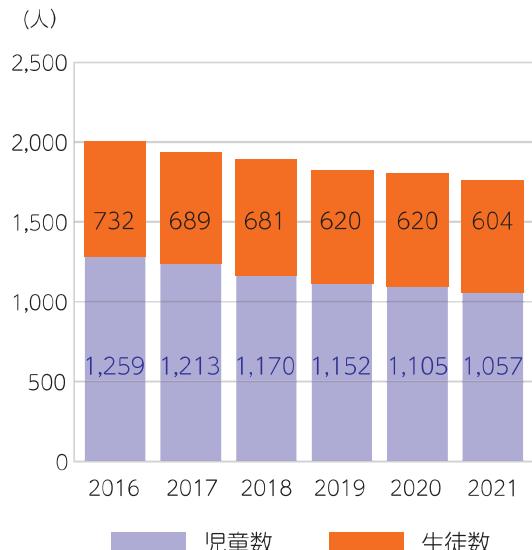
施策の
方向性

4-2 子どもたちの教育環境の充実

現状

- ▶ 「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」は、小中学生ともに全国平均をやや上回り、「全国学力・学習状況調査」は、小中学生ともに全国平均をやや下回る傾向
- ▶ 誰一人取り残さない、持続可能でよりよい地域社会の実現の推進と健やかな心身・安全な生活を保持増進できる子どもの育成を推進
- ▶ 学校給食で提供されている献立を競う全国学校給食甲子園において、学校給食センターは準優勝を獲得するなど、食育の啓発や地産地消を推進
- ▶ 外国語指導助手の配置やICT環境の整備により、国際化やデジタル化社会に対応できる人づくりを推進
- ▶ 課題を抱えた子どもを支援する専門職の配置等により、安心して通うことができる教育支援体制を推進
- ▶ 就労等により保護者が昼間、家庭にいない児童に小学校の空き教室を利用した学童保育を実施
- ▶ 児童生徒が減少する中、望ましい教育環境をつくるために学校の適正化について検討
- ▶ 学校施設の効率的な改修等を進めるため、学校施設長寿命化計画を策定
- ▶ 市内唯一の公立高校として宇陀高校が新設

市内児童・生徒数の推移



課題

- ▶ 基礎的・基本的な知識・技能のみならず、課題を解決するために必要な情報を精査し、根拠を明確にして説明する等の思考力・判断力・表現力の育成
- ▶ 外国語教育やデジタル化に対応した教育をはじめ、新しい時代に必要とされる資質・能力の育成
- ▶ 課題を抱えた子どもたちやその保護者を支援する支援員や相談員、専門職の配置の充実
- ▶ 学校の学習環境の充実を図るため、保護者や市民の意見を踏まえた小・中学校の適正化
- ▶ 学校施設に求められる機能・性能を確保しつつ、ライフサイクルコストの縮減など、中長期的な視点から財政負担の軽減・平準化

目指すまちの姿 4

施 策

① 児童生徒の「よりよく生きる力」を育てます

- ▶学ぶ意欲を引き出し、家庭学習の定着を図るとともに、「どの子どもにも分かる授業」の実現に向けた教職員の資質・能力の向上
- ▶確かな学力を身に付けるため、国や市の学力調査の活用
- ▶他者の思いや意見、考え方を尊重することのできる豊かな人権感覚を持った子どもの育成
- ▶学校給食における地産地消の促進と、食育の推進
- ▶「使える」外国語教育の充実を図り、国際的視野を広めるとともに、プログラミング教育^{※54}による情報活用能力や科学的思考力の向上
- ▶学校と家庭が連携したいじめや不登校の未然防止、早期発見、早期解決を支援するとともに、スクールカウンセラー等の教育相談等を通した子どもの発達や不登校児童生徒の自立の支援
- ▶GIGAスクール構想^{※55}により整備した一人一台の学習用PC等のICT機器の効果的な活用と情報モラル教育の充実
- ▶利用人数に対応した学童保育を行うとともに、保育を実施する支援員の質の向上
- ▶宇陀高校との連携による、小・中学校における情報教育等の教育内容の充実

② 児童生徒の教育環境を整えます

- ▶保護者や地域住民、学校、教育委員会の連携・協働による小・中学校の適正化
- ▶小・中学校校舎や屋内運動場の大規模改修、LED化、長寿命化、バリアフリー化等の施設整備
- ▶安全で安心な学校給食を提供するために老朽化している学校給食センターの新設
- ▶安全で安定したスクールバスの運行及び車両の年次的更新



全国学校給食甲子園での献立



こんな事業をしています

(事業は 2021 年度)

- 教職員の指導力・質の向上
- 外国語指導助手配置
- 学力・学習状況調査
- オンライン英会話
- 教育相談
- 通級指導教室設置
- 適応指導教室設置
- 新宇陀市立学校給食センター建設
- 屋内運動場 LED 化
- 学校適正化

こんな計画が関連しています

- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市学校教育の指導方針
- 宇陀市いじめ防止基本方針
- 宇陀市学校施設長寿命化計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画

※54. プログラミング教育：物事を順序立てて論理的に考えていく力(プログラミング的思考)や情報を活用する力を身に付けるための教育のことです。

※55. GIGAスクール構想：義務教育を受ける児童生徒のために、一人一台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境等を整備する構想で、宇陀市では 2020 年度に整備を終えています。

生涯輝くまち

SDGs



4-3 多様な学びの場の整備・充実

現 状

- ▶ 生涯学習の拠点となる中央公民館と地域の分館で、各種講座を開催し、生涯を通じた多様な学びの場を提供
- ▶ 図書館は、蔵書の充実を図るとともに、電子図書館の開設や図書消毒機の導入など、コロナ禍での読書環境を整備
- ▶ 大和富士ホールは、住宅地の中にあるということもあり、市民の教育文化の向上と生涯教育の増進を図る施設として、幅広い年齢層が利用
- ▶ SNSの普及により、人間関係の希薄化やインターネットを悪用した問題行動の発生など、青少年を取り巻く環境が大きく変化
- ▶ 家庭や地域、学校の連携により、地域ぐるみで子どもたちの育ちを支える取り組みを実施

課 題

- ▶ 中央公民館等の各社会教育施設の老朽化対策
- ▶ 様々な生涯学習活動や地域ぐるみ・世代間の交流を通じて、人とのつながりや人を思いやる心を育む機会の提供
- ▶ 青少年がSNSを含むインターネットについての正しい知識を身に付けるよう普及啓発など、青少年健全育成環境の充実
- ▶ 地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支える学校と地域の連携強化



はじめに
宇陀市の紹介

中期基本計画の
策定にあたつて

基本構想

基本計画

健幸なまち
暮らしがやすいまち

活力あるまち

生涯輝くまち

自然豊かなまち
地域力を發揮するまち

資料編

目指すまちの姿 4

施 策

① 生涯学習環境の充実を図ります

- ▶教養の向上や健康の増進、文化の振興等のため、市民のニーズに合った各種講座や教室の積極的な開催
- ▶老朽化が著しい中央公民館及び菟田野、室生の各分館は、生涯学習の拠点機能を維持するため、地域内の他施設への移転の検討
- ▶図書館では、利用促進を図るとともに、子ども読書活動推進、電子図書^{※56}やデイジー図書^{※57}の拡大等により、子どもから高齢者まで幅広い世代の学びや交流の場の創出
- ▶各社会教育施設について、中長期的な視点に立った維持・保全対策等や効率的な管理運営

② 地域社会全体で子どもの育ちを支えます

- ▶地域・家庭・事業所・行政等の連携を強化し、子育ての楽しさや大変さを分かち合えるよう、多様な人の協力と助け合いによる自主的な活動の支援
- ▶子どもの自立や協調性を高めるため、関係団体の育成やイベント開催、ボランティア活動等の実施の支援
- ▶各健全育成団体の協力を得ながら、未来を担う子どもたちの育成支援
- ▶地域社会力を活かし、地域ぐるみで学校をサポートするボランティア活動を支援し、「地域と共ににある学校づくり」を進めるため、子どもたちの学習補助や体験学習等の実施



子どもフェスタの様子



こんな事業をしています

(事業は 2021 年度)

- 公民館講座開設
- 子ども読書活動推進

- 宇陀市子どもフェスタ開催
- 学校・地域パートナーシップ

こんな計画が関連しています

- 宇陀市子ども読書活動推進計画
- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市生涯学習振興指針

- 宇陀市過疎地域持続的発展計画
- 宇陀市子ども・子育て支援事業計画
- 宇陀市スポーツ施設等個別施設計画

SDGs



基本構想

施策の
方向性

4-4 スポーツ・芸術・文化の振興

現状

- ▶ 宇陀市のスポーツ施設等では、市民団体等が様々な活動を実施
- ▶ 健康づくりへの取り組みが注目され、団体スポーツ・個人スポーツとも気運が高まる
- ▶ 2031年に奈良県で国民スポーツ大会^{※58}・全国障害者スポーツ大会^{※59}が開催予定
- ▶ 文化会館等で芸術・文化に触れることができる環境が整っている



大宇陀ふれあい交流ドームでの体験教室

課題

- ▶ 健康増進等を目的とした生涯スポーツと記録達成を目的とした競技スポーツのどちらでも活動できる環境づくり
- ▶ 市民のスポーツ振興並びに、スポーツを通した関係人口の拡大による地域活性化の拠点となる施設の整備
- ▶ 地域等で誰もがスポーツを楽しむことのできる機会の拡大や共生社会の実現、健康寿命の延伸
- ▶ 安全で快適に利用できる施設の長寿命化や適正な維持管理
- ▶ 市民主体の文化活動への支援や芸術・文化に触れることができる情報発信や機会の充実

※58. 国民スポーツ大会：毎年、都道府県持ち回りで開催される国内最大のスポーツの祭典です。国民体育大会（本大会）と国民体育大会冬季大会に分かれており、都道府県対抗で実施されます。また、「国民体育大会」の名称は、2024年の佐賀県での大会から「国民スポーツ大会」に変更されることとなっています。

※59. 全国障害者スポーツ大会：毎年、国民体育大会を開催した都道府県で開催される、全国的な障害者スポーツの祭典です。大会は、3日間の会期で行われ、障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進することを目的として開催されています。

目指すまちの姿 4

施 策

① スポーツ活動の充実を図ります

- ▶スポーツ施設の整備に向けた取り組みを進め、スポーツ振興及びスポーツによるまちの活性化
- ▶中長期的な視点に立った体育館や運動場等のスポーツ施設の維持・保全対策等による効率的な管理運営
- ▶スポーツ施設を気軽に利用できる環境づくりに努めるとともに、各地域の施設を活用し、健康寿命の延伸に向けた健康づくり
- ▶障がいのある人等のスポーツ参加を推進し、スポーツを通じた共生社会の実現
- ▶総合型地域スポーツクラブ^{※60} 設立支援による生涯スポーツ社会の実現
- ▶2031年に奈良県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた会場誘致



宇陀市総合体育館と総合運動場

② 芸術・文化の振興を図ります

- ▶芸術・文化活動の拠点施設である文化会館の環境整備と長寿命化対策
- ▶情報発信や講座等を充実し、芸術・文化に親しみ、感性を育てる市民の芸術・文化活動の支援
- ▶創作活動の成果発表の場や、芸術・文化鑑賞による創造的な「思考力、判断力、表現力等」の育成
- ▶芸術文化活動体験交流施設（ふるさと元気村）や室生高齢者等ふれあい館（音楽の森ふれあい館）等での芸術・文化活動を推進し、地域の活性化を図るとともに、より効果的な運営の実現



美術展覧会



こんな事業をしています

(事業は 2021 年度)

- スポーツ施設長寿命化
- スポーツイベント開催
- 文化会館自主事業

- 美術展覧会開催
- 文化会館長寿命化

こんな計画が関連しています

- 奈良県と宇陀市とのまちづくりに関する基本計画
- 宇陀市生涯学習振興指針
- 宇陀市障がい者計画

- 宇陀市教育大綱
- 宇陀市スポーツ施設等個別施設計画
- 宇陀市過疎地域持続的発展計画